

高齢者施設 REIT 新生銀行が創設、国内初

国内初の高齢者向け施設 REIT、資産規模は 1000 億円

新生銀行の当麻茂樹社長は 5 日までに新聞のインタビューに応じ、高齢者向け施設に専門に投資するヘルスケア REIT（不動産投資信託）を新設する考えを明らかにした。

資産規模は 1000 億円程度、実現すれば国内初となる。

高齢者施設の需要は年々増えているにも関わらず、資金が集まりにくいいため供給が追いついていないというのが現状だ。新生銀行はヘルスケア REIT を来年度にも上場させ、1000 億円程度の資産規模にすることを目指す。

新生銀行は 2013 年 3 月に発表した中期経営計画の中で「医療・ヘルスケア」を重点分野の一つとし、差別化を推進するとしている。高齢者向け施設整備もその一環であり、REIT で集めた資金を優良な施設に投資されるよう促していく方針だ。

新生銀行中期経営計画（2013 年度～2015 年度）

<http://www.shinseibank.com/investors/>